

刈谷市スマートシティ構想に対する意見について

○提案意見総数：10件（4団体）

うち、構想案へ反映した意見：3件（下表 No. 4、No. 7、No. 10）

○提案意見の概要と市の考え方

No	該当箇所	意見	市の考え方
1	全体	研究会から推進協議会に改組されたが議論があまり深まっていないように思います。委託しているコンサルのNTT データ経営研究所にもっとリードしてもらい、協議会の場でも彼らに前面に出てもらってよいかと思います。	具体的な実証内容の検討については、7ページの推進体制で示すように、推進協議会の下部組織であるワーキングチームで議論していくことを想定しています。会員の皆様が活発に議論できるよう、より良い運営のあり方を検討していきます。
2	全体	課題によっては、刈谷市内外も含めた解決が要求されるものが出てくるかと思いますが、刈谷市以外の近隣の市の方との連携はしていく予定はあるのでしょうか。	課題によっては、広域での取組が有効となることもあり、関係市町と連携していく可能性は十分にあると考えています。
3	P4	「医療の充実」が分野から欠落しており、真正面から捉えられていないようです。ICT の活用は重要な分野から取り組むべきで、その意味で医療は外せません。 市民病院を持たない刈谷市が民間医療法人である豊田会をうまく活用して「将来への備え」を充実させることに思い切って絞り込んでもよいのでしょうか。	4ページに記載の「道路・交通分野」といった分野は、現在策定中の第8次刈谷市総合計画の基本計画の分野のうち、スマートシティに関係の深い分野を例示したもので、「健康づくり分野」の施策の一つとして「地域医療体制の充実」が含まれており、「医療」を除外するものではありません。 ご指摘いただいたように思い切って一つの分野に絞り込んだ構想とすることも考えられますが、国の作成するスマートシティガイドブックで示すように、スマートシティの取組は、分野を超えたデータ連携をすることで新たなサービスの創出や既存サービスの深化を図り、複合的な課題へ対応していくことが重要であるため、本市の構想では分野を絞らずに、軸となる「子どもの未来」と「将来への備え」という2つのテーマを定めて分野横断的に取り組んでいくこととしています。
4	P7	刈谷市としてスマートシティ化を進めることで、どのような姿を目指すのか明確にされたい。	本市が目指す姿は、総合計画における将来都市像「人が輝く 安心快適な産業文化都市」であり、スマートシティは、その都市像を実現していく範囲内で、各施策の有用性や効率性を高める要素の一つと整理しています。 (次ページに続く)

No	該当箇所	意見	市の考え方
4 続き			4 ページで、本構想は総合計画の各分野において、分野横断的にスマートシティの取組を進めるための指針として位置付ける旨を記載していますが、上記の整理を明確にするため、総合計画の将来都市像との関係性を明記します。
5	P7	<p>「子どもの未来」と「将来への備え」を二大テーマとして強調されていましたが、この二つは同じことを言っているように感じます。</p> <p>同じなら同じ、違うなら違うをはっきりさせて訴求力をつけて欲しいです。狙いをはっきりさせて欲しいということです。</p>	<p>「子どもの未来」では、スマートシティの取組を通じてまちの魅力を高め、子どもたちが未来に夢を持てるようにすることを目指しており、子どもたちが身近な場所で先端技術を使ったサービス等に触れられるような取組を行っていくことを想定しています。</p> <p>「将来への備え」では、大きな課題が顕在化していない現在のうちから将来に備えておくことが必要であり、本市は他地域に先んじて先進的な取組を進めていくことができる可能性を持っていることから、将来的な高齢化や起こり得る災害に備えるための実証事業を推進していくことを想定しています。</p>
6	P7・P8	取組みや目指すことが明らかになるように課題をより明確にさせていただけると、協議会参加企業が取組やすくなると思います。	本構想は、分野横断的にスマートシティの取組を進めるための指針であり、実証実施に向けた具体的な課題については、推進協議会において提示してまいります。
7	P8	「刈谷スマートシティ研究会の実証実験プロジェクトのアイデア(30のアイデア)」に取組んでいくことを記載されたい。	8 ページの取組イメージのリード文中に、本構想で推進していく取組には、研究会で出されたアイデアも含まれることを明記します。
8	P9	推進体制・進め方について、より具体化をお願いします。実際に進めていく上で、協議会参加企業にとってメリット(協力者づくり、成果、有効性の評価等、他地域への展開、資金面での支援)が実現できるようリードいただけますと、取組みが良いものになると考えます	本構想では、推進体制の全体像のみ示しております。実証の実施や実装に向けての詳細については、推進協議会の下に設置する個々のワーキングチームにおいて具体的に検討を進めていく想定をしています。

No	該当箇所	意見	市の考え方
9	P9	<p>コンソーシアムの体制についてですが、効率的に実施していくためにも、刈谷市の部局の方、特に、現場のことをよく理解されている方に参加して頂くことは可能でしょうか。</p>	<p>実証の実施にあたっては、当該実証に関係する市の担当課とともに検討を進めていきます。</p>
10	P10	<p>ロードマップでは、社会実装はフェーズ2以降とありますが、タイミング的に遅いように思いますので、フェーズ2を待つことなく、準備が整った段階で社会実装を開始することは可能でしょうか。</p>	<p>必ずしもフェーズ2の期間中に実装するものではなく、実証により成果が確認でき、費用対効果が認められるものであれば、順次実装を進めていきます。</p> <p>フェーズ2を待つことなく実装を進めていく場合もあるということがわかるよう10ページの推進ロードマップを修正します。</p>